





ズ
ズ

ズ

見上げるだけで
身長之差が想像以上に
威圧してきて...



ト
ザ
ッ

う...
こうして
床に降ろされると

ほら
立ちなさい



まだ自分が
小人になったって
自覚ないですよねぇ？

すり

すり

こ
小人？



センサーってー

えっ
はいっ
びん

怖い



体が小さくなったのは
罠のせいだっ

モミ

モミ

元に戻る装置を
使えば俺はっ

もう元の
大きさに戻することは
できません

先生はこれからずっと
小人で私たちのおもちゃ

そして先生から見た
私たちは「人間様」ってことです

ですから

私たちが先生を
隠しちゃえば



人間様って...
俺だって同じ人間...

ふふ
小さくなったばかりの
小人はみんなそう言いますね

ほら見て
センセ♡

ウハ



盗んだパンツで
なにしてたんですか？



ニオイとか
嗅いでたんですか？



先生が小人になってまで
見たかった女の子のパンツ…
今じゃ先生の倍以上の
大きさだけど



毎晩オナニー
してたんだあ♡



おちんちん
こすりつけたり

パンツの中のもの
想像したりして…

トロキ…



いつもの繊維越しの
乾いた匂いじゃなくて
湿った生の香り





チッ
生意気ね
かな
ちよっと
手はなして

あの...
えっと...

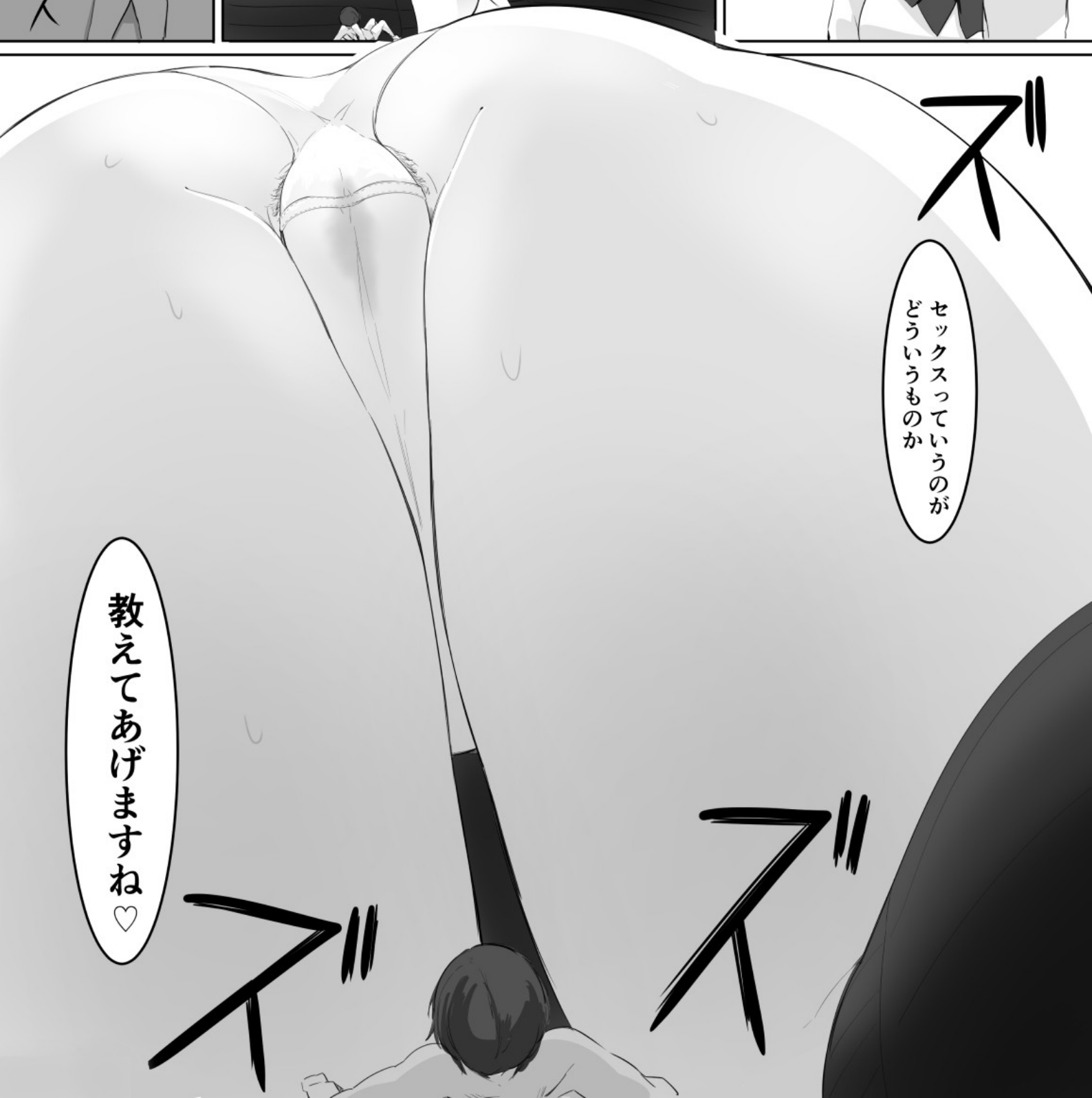
え...
?

人間様が聞いて
やってんだから
さっさと答えなさいよ

童貞なんですよ?

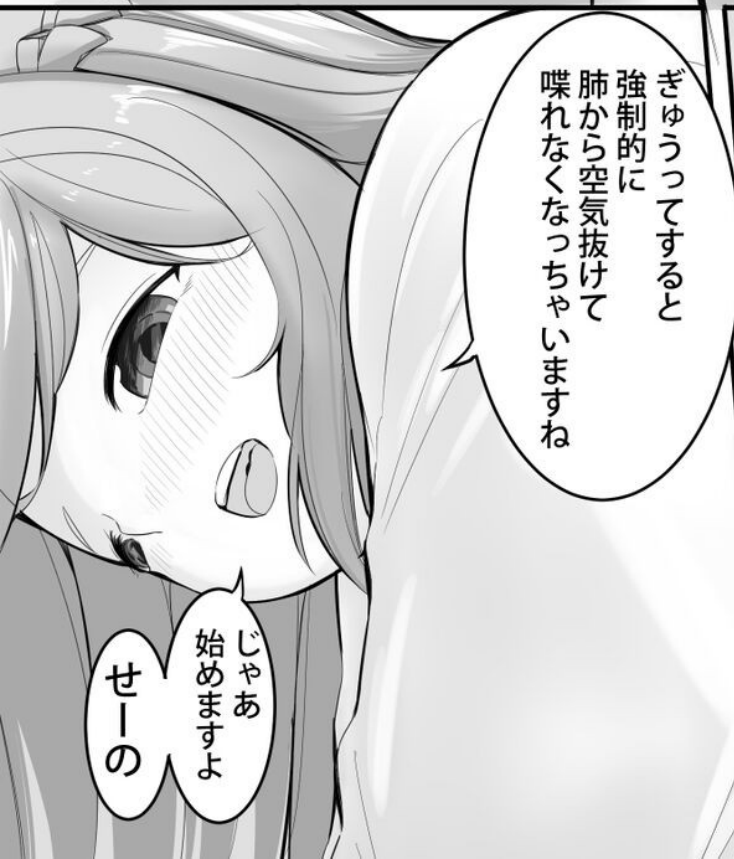
!!?







パンツにしっかり
つかまって
くださいねー？



ぎゅうつてすると
強制的に
肺から空気抜けて
喋れなくなっちゃいますね



パンツと...
机の足に
挟まれた...？



ぱーん
ぱん♡

ぱん
ぱん♡

ほーら
セックスって
こうやるんですよー？

あははっ！

童貞の先生には
刺激強すぎですねー

こっ…
これは潰れる！
絶対潰れる！

息も吸えない
声も出せない…
体が限界だって
言ってるのがわかる

先生も体動かして
くださいよー
でないと私から
どんどん体重
かけていきますよ？

小人の先生に
普通の女の子の
体重が乗ったら
どれくらいまで
耐えられるん
でしょうね？

痛い！
イタイ！
イタイ！

かなは相変わらず
小人をじわじわ
押しつぶすのが好きね

うん♡
小人の骨がきしむ
この感触がたまらない♡

はい
息継ぎ
タイム

またすぐ
パンパン
するからね♡

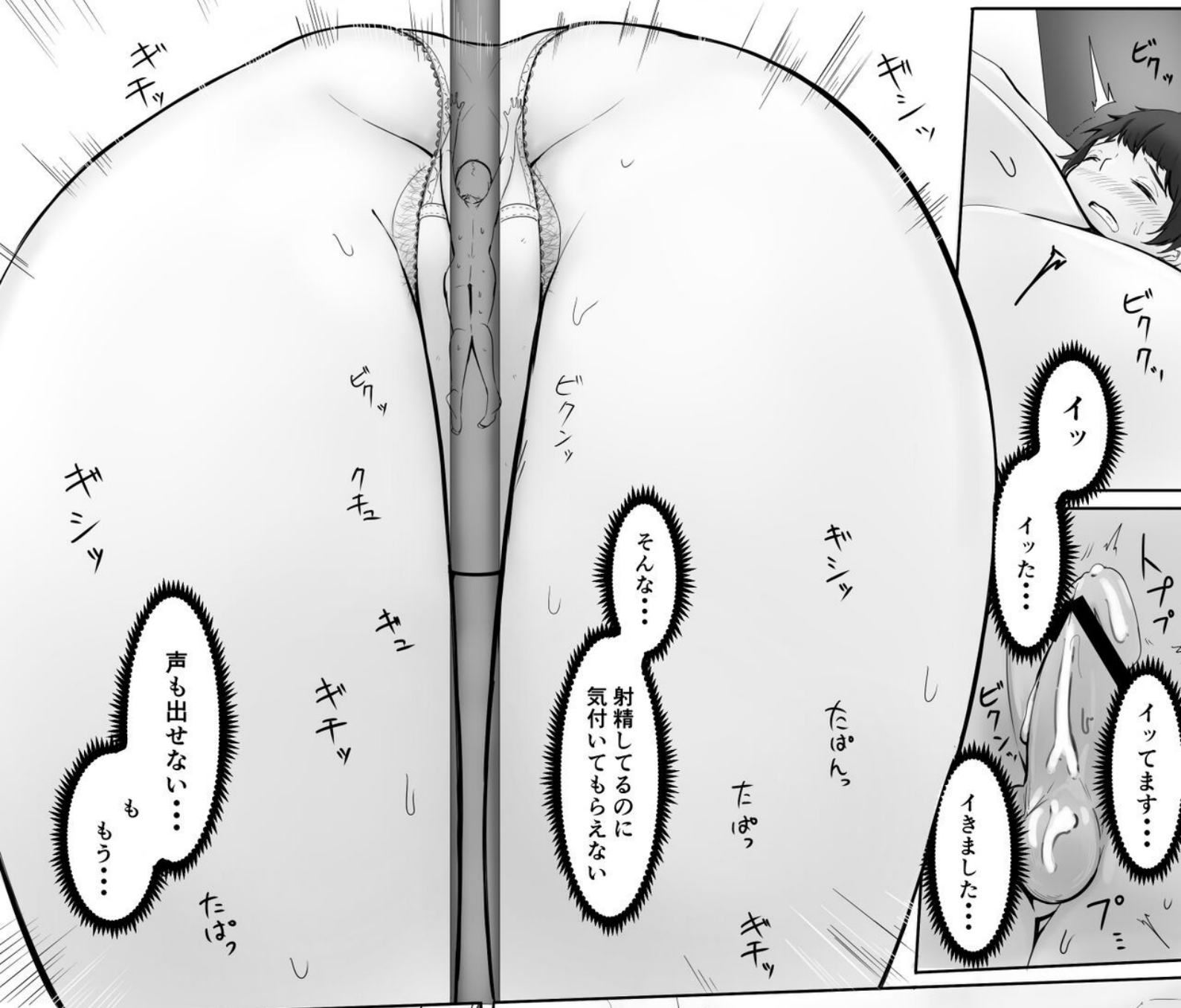
うっ
動きます！
動きますから！

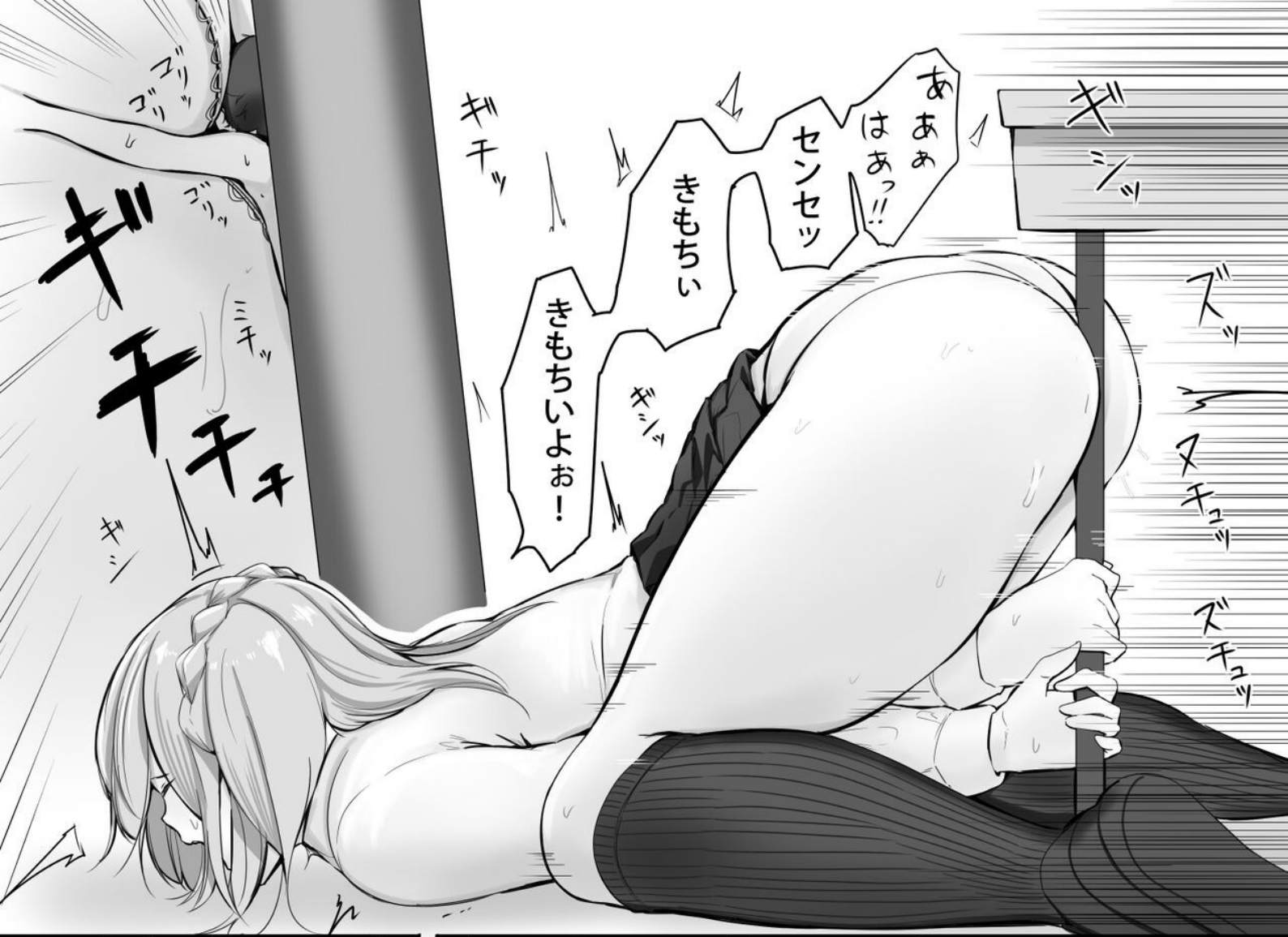
潰さないでえ！

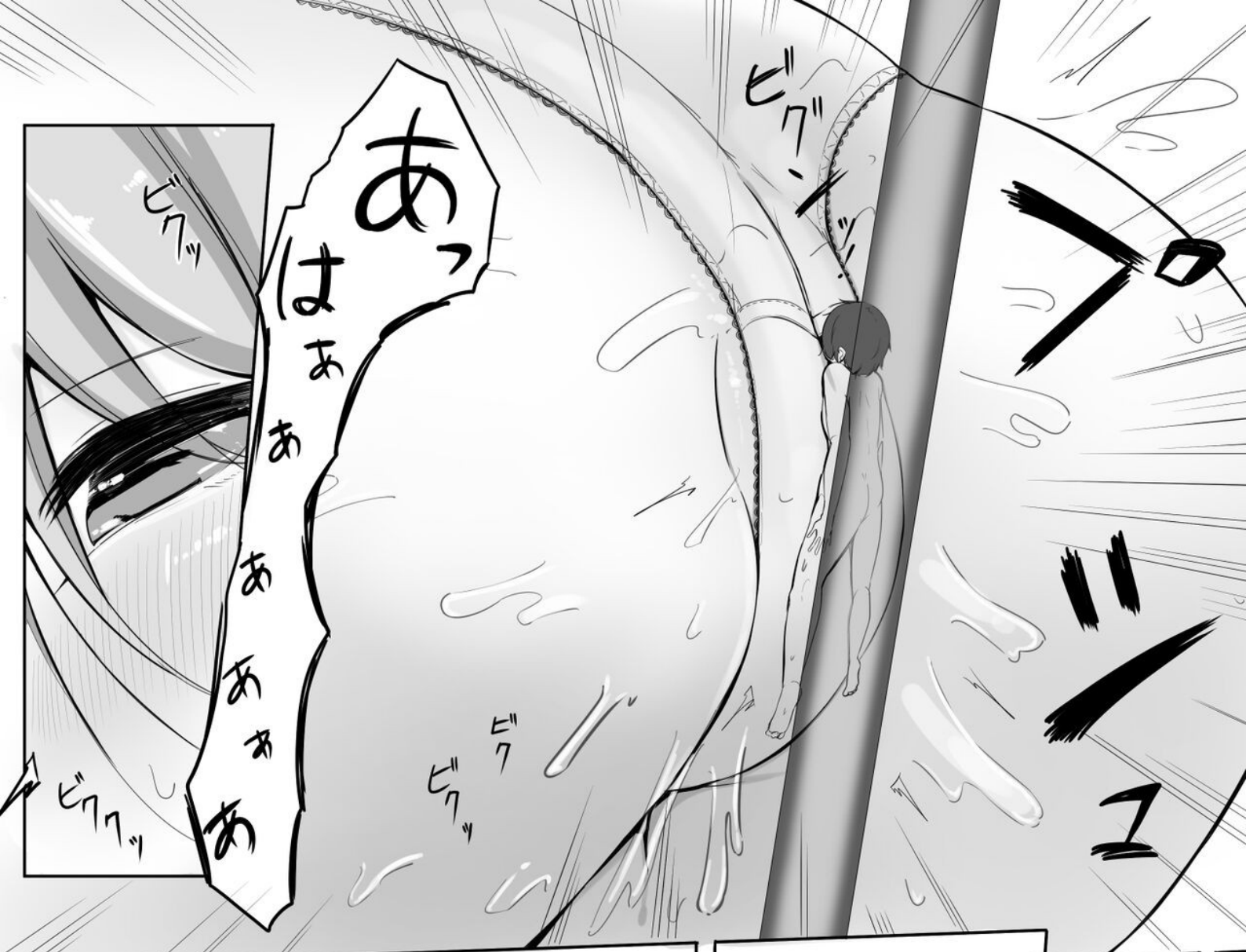
なにそれ
それで気持ちよく
させられると
思ってるの？

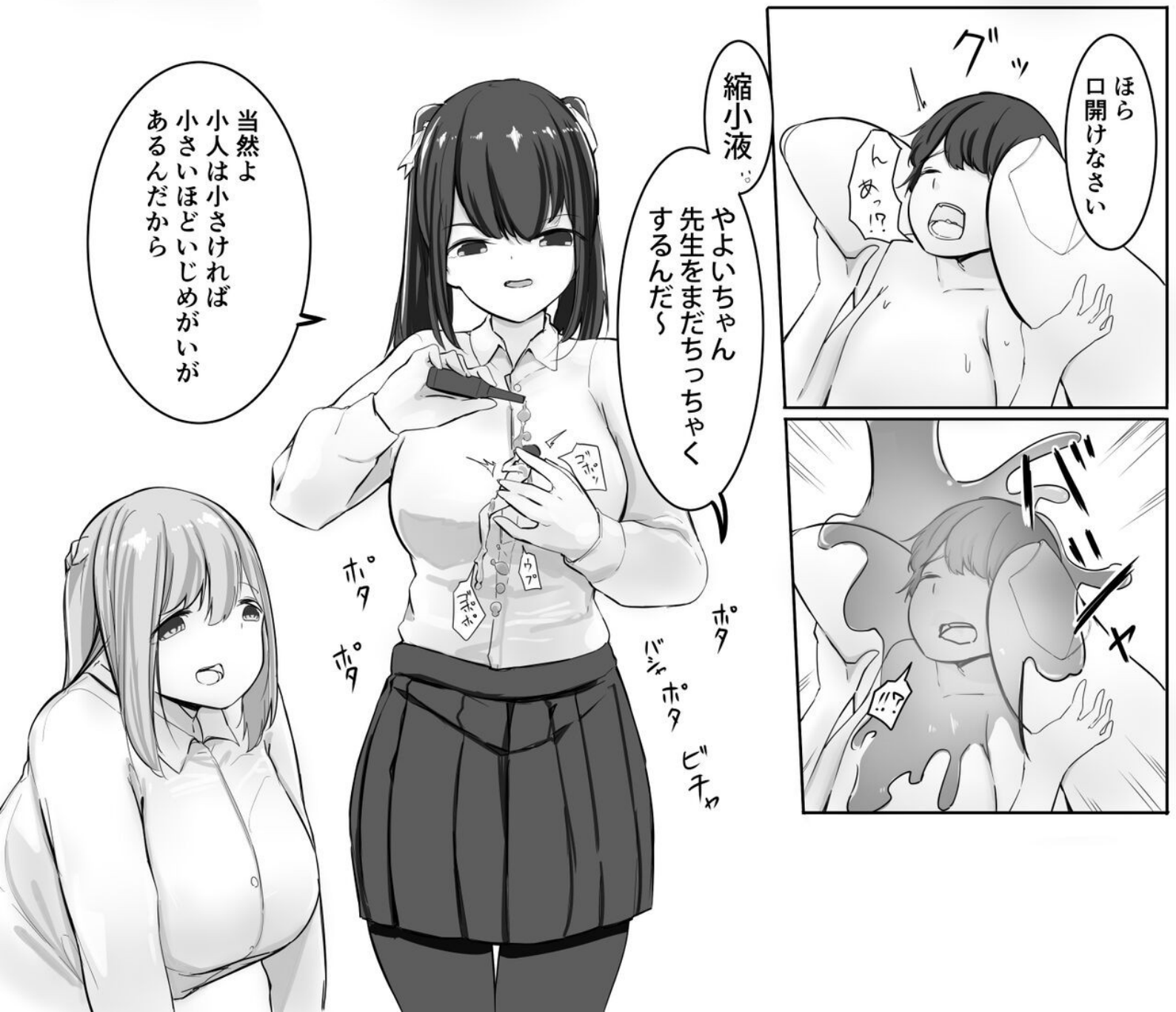
でも
一生懸命で
かわいい♡

先生にとっては
これが初セックス
だもんね







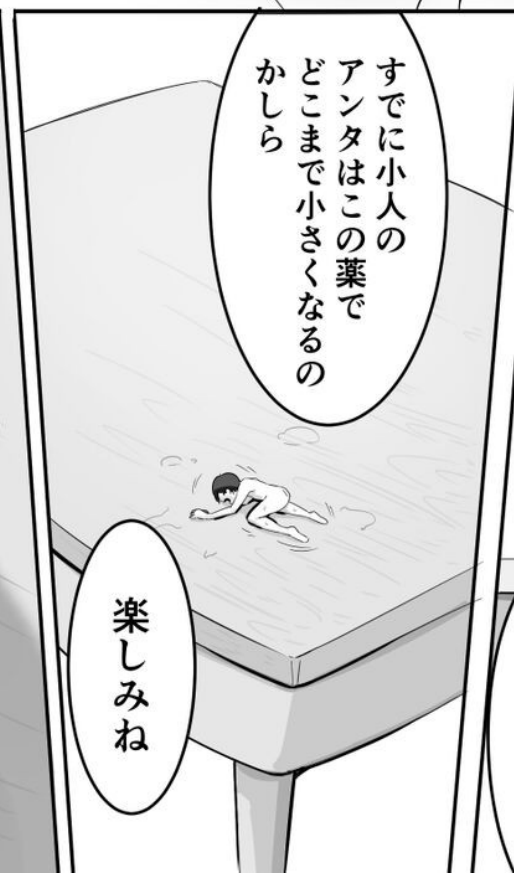




ふふ
縮小が
始まったわね



じゃあ...



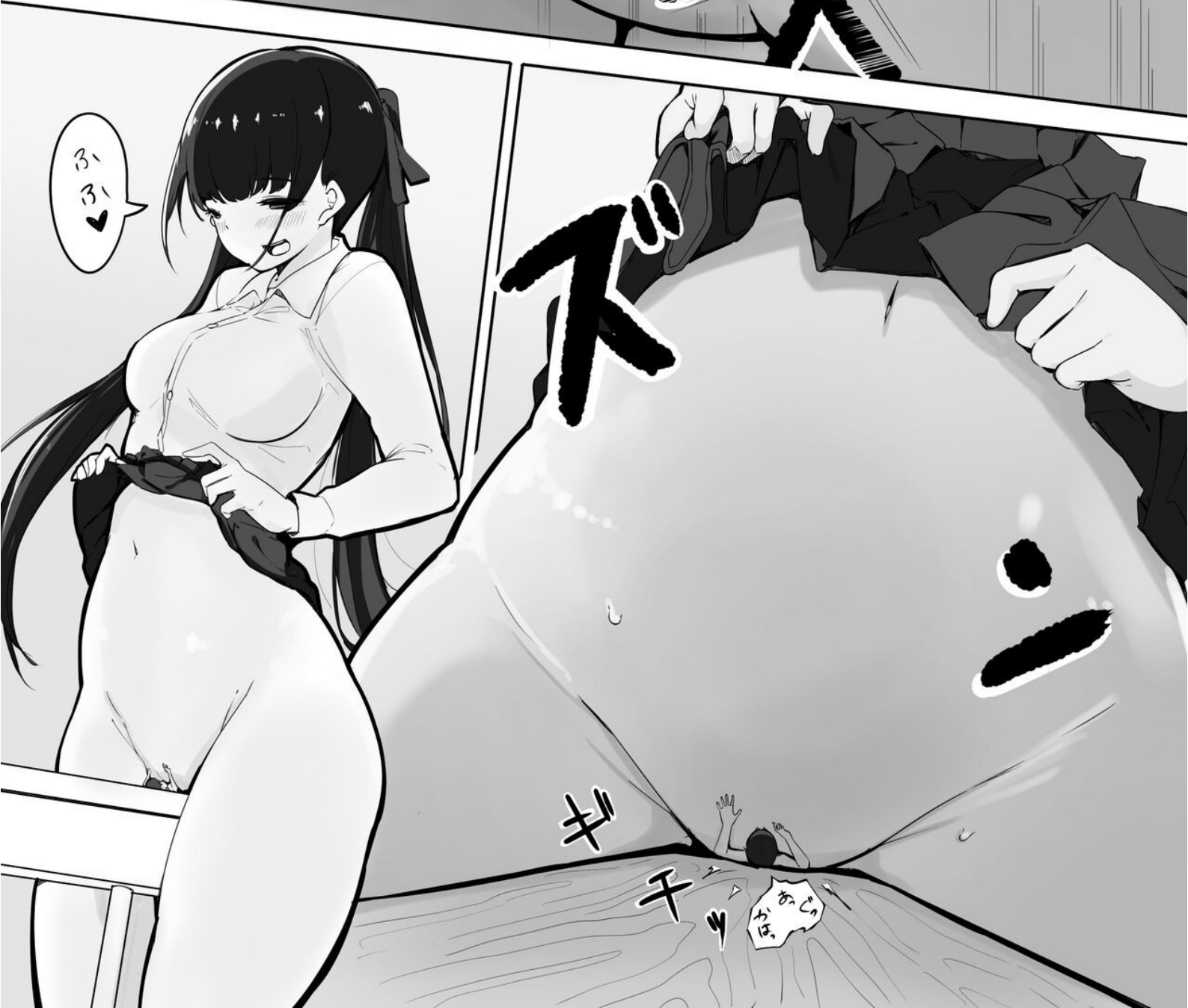
すでに小人の
アンタはこの薬で
どこまで小さくなるの
かしら

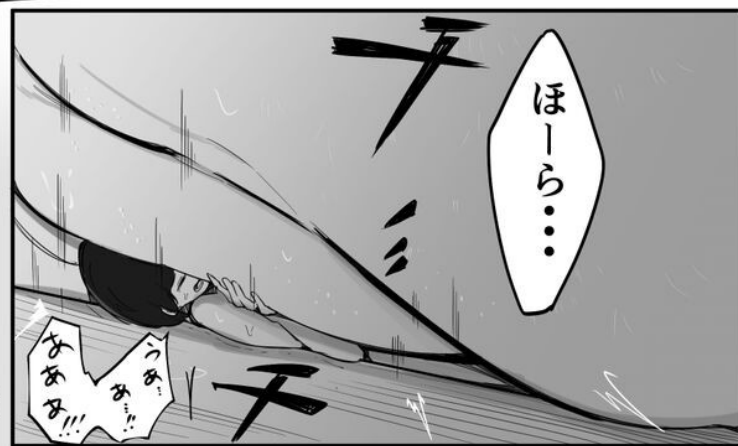
楽しみな



この薬は
効き目は
ゆっくりだけど
強力だね

普通の大きさの人が
飲んだら1センチ
くらいまで縮むの







もう
体隠れちゃった

この薬
疲れてると
効き目が早まる
とかあるわけ？



なんか普通の小人より
全然動けないわね
このクズ教師

あー、
私の相手して
疲れちゃった
のかな？



…あら？

もしかしたら
あるかもねえ



…まったく
だから手加減してって
言ったのに

…え？
入った？
体全部！？

もうそんなに
小さくなったのか？
まずい
ここから出ないと！

るぽっ



高い
さっきまで居た
机の上じゃない

ズ

ズ

これじゃあ
ここから出られない

ズ
ズ

っ！

歩いてるのか!?

一体何を
するつもり
なんだ!?







ごきげんよう

表情もわからない程
ちいさな小人さん

小さすぎて
そんなんじゃ
オナニーの道具にすら
ならないけど

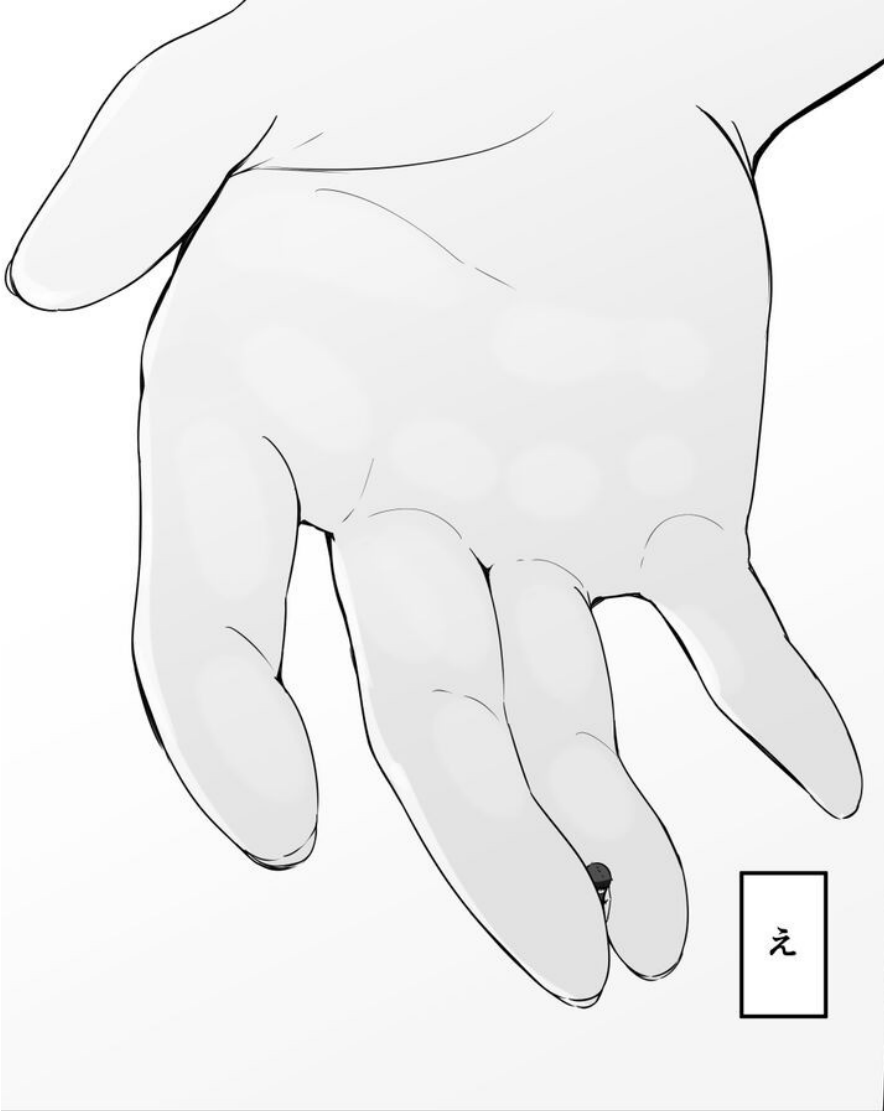
あいにく私は
どっかの無能小人に
おあずけされて
イライラしてるの

だから

特別に私の
オナニーに混ぜて
あげる

感謝しなさい





え



オナニー？

混ぜる……？

たじ



ちゅ
3°
んっ

ヒッ



フウ

やめ
やめ
お願い!!



うそ……

嫌……

いやだ

体液が混ざる音が
体内を流れる血液の音なのか
わからないが
まるで地鳴りのような音が
すさまじい

ここが女の子の
体の中!?

そしてまだ縮小が
進んでるせいか音も
圧力も増していったる...

もし今
指から離れて
腔内に放りだされて
しまったら...
更に小さくなって
ここで迷子に...

それだけは
絶対にダメだ!

指紋でもなんでもいい!

とにかく
しがみつくんのだ!





はぁ…

ふふ♡



へえ
こんなに小さいのに
指から離れずにいるなんてね

てっきりアソコの中で
居なくなると思ってたのに



はぁ—

はぁっ

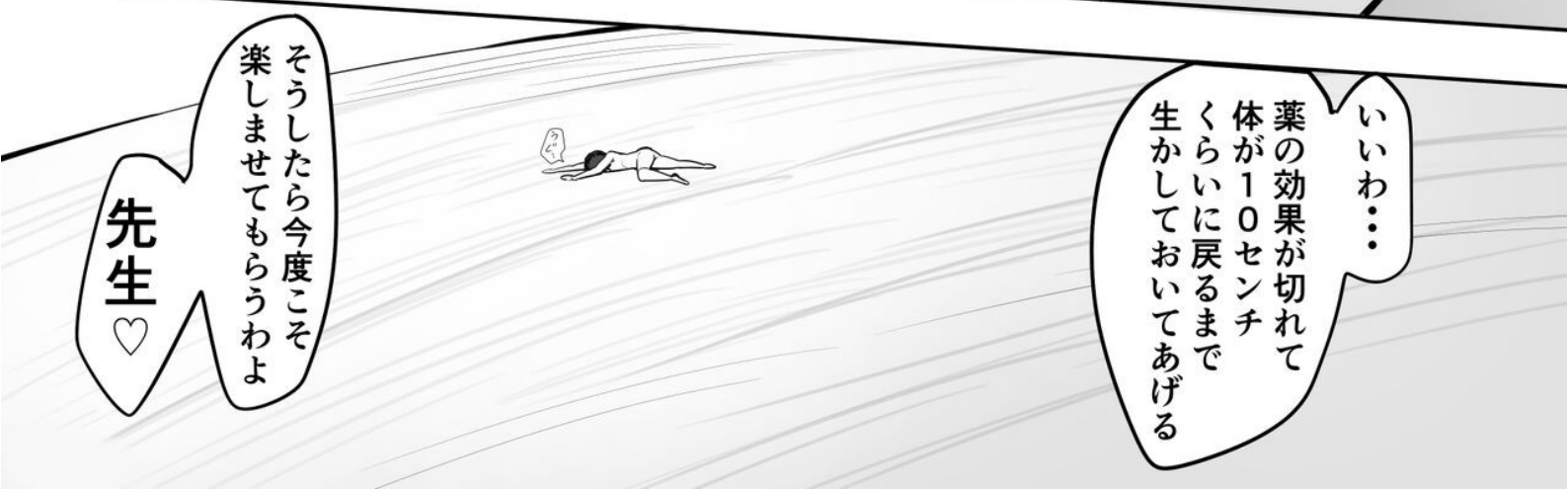
はぁ

ビク
ンッ

トッ
ッ

はぁ

ヒク
ヒク



いいわ…

薬の効果が切れて
体が10センチ
くらいに戻るまで
生かしておいてあげる

そうしたら今度こそ
楽しませてもらうわよ

先生♡



午前2時
かなの部屋



かなと
その体の表面に住む
もう一人

※服の中



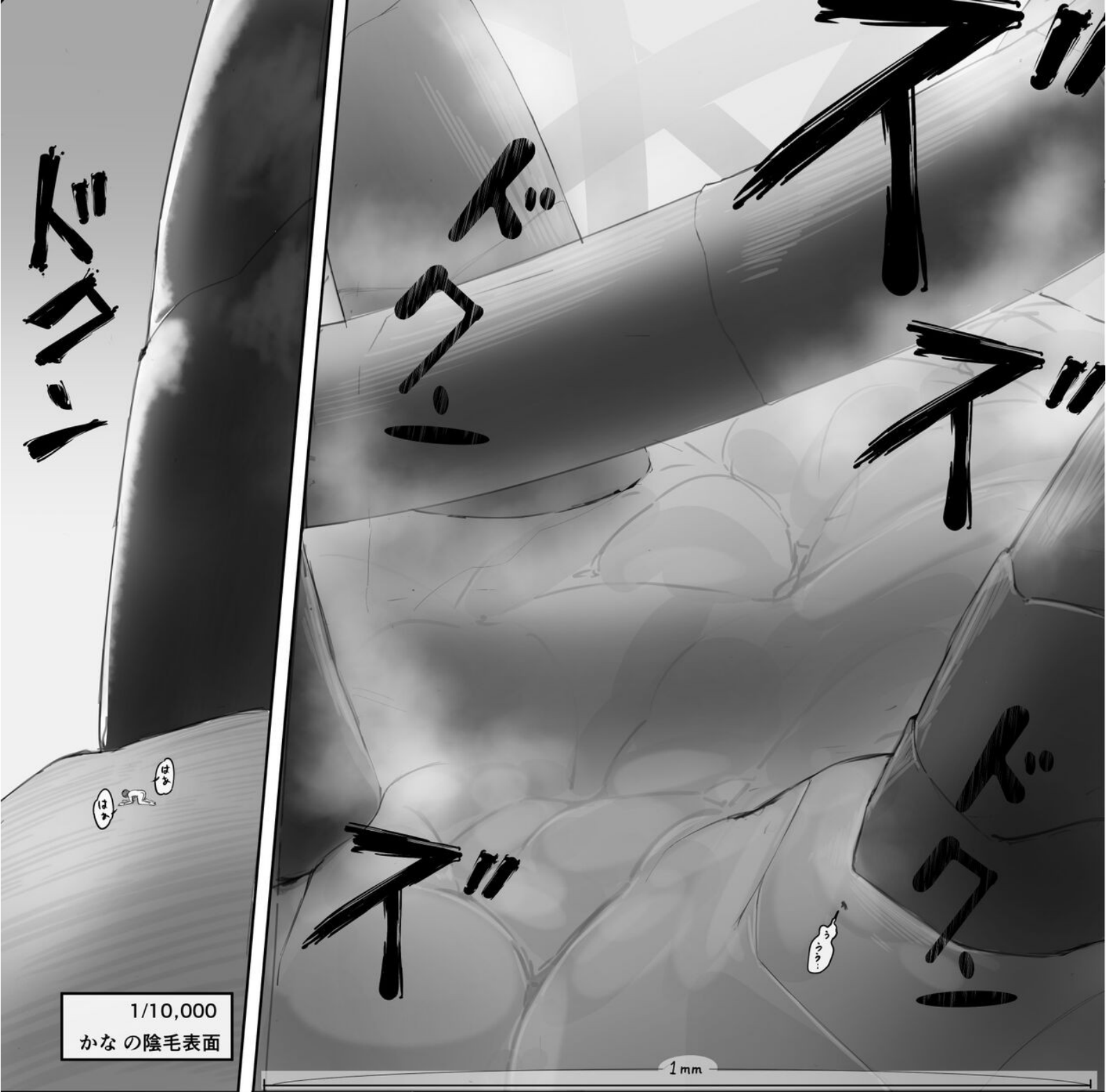
ズズ...

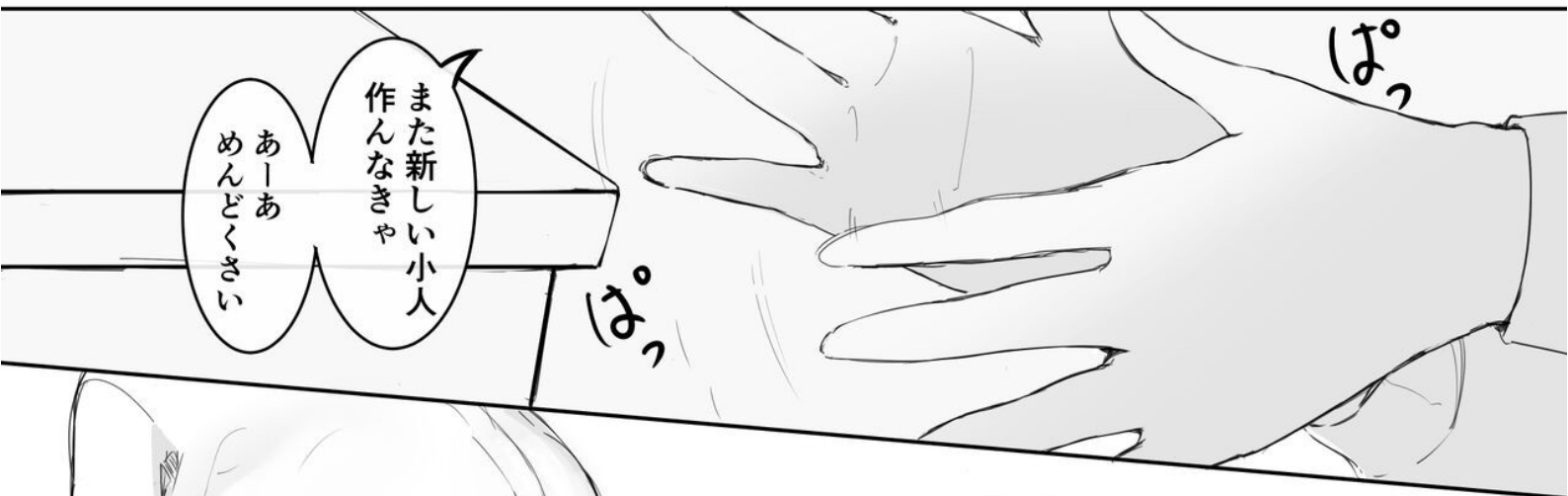


トクン

トクン...







そうして落とされた俺は
途中何かにしがみついて
床まで落ちずにすんだ
それがスカートの繊維だと知るのは
後になってのこと

激しく揺れるそれに
振り落とされないよう
繊維の奥へ奥へともぐっていくと
今居る陰毛へたどり着いた



今の生活を
説明すると

すー
すー

昼間は毛穴の間に隠れて
激しい揺れに必死に耐え
夜この子が寝静まった頃に
俺は動き出して食べ物を探す

活動期の間、俺は
俺の体から出てくる
汗や皮脂を、俺の
皮膚の表面に塗り
つけて、俺の皮膚
を保護している

「食べ物」といっても食べるのは
この子の古くなってボロボロに
なった肌などの老廃物や分泌液

この子は風呂に入った
後に就寝するので
きれいに洗われた肌の
表面に老廃物は無く
肛門付近の比較的
洗い残しが多い箇所を
見つけて食べている

トクン...

味なんてしない物は
まだマシでほとんどが
腐乱した生ゴミのような味がする

「おじいちゃん」
「おばあちゃん」

トクン...



体が熱い...!

なんだ!?

ムク...

これは...

もしかして...!

ムク...

